

幼保連携型認定こども園

美咲こども園

令和4年度 施設関係者評価報告書

社会福祉法人恵愛会

早春の候、保護者の皆様・地域の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、美咲こども園の教育・保育活動にご支援・ご協力を頂きありがとうございます。美咲こども園では、教育・保育目標や計画をはじめとする園運営について、保育教諭による「自己点検・自己評価」を実施すると共に、保護者の皆様に園評価アンケートをお願い致しました。

4年度のアンケートの回収結果は、回収率が74.6%で昨年度より残念ながら12%程低下いたしました。丁度、アンケート期間中、体調不良児が幼児クラスで多く出た時期でもありましたので、その影響で提出できなかった保護者の方がおられた結果ではないかと思えます。

保護者の皆様からは、各アンケート項目についての評価と自由記述による貴重なご意見・ご要望を頂きました。今年度の公表に当たりましては、施設関係者評価委員会を構成した上での評価は諸事情により行うことが出来ませんでしたので、職員代表者により評価をまとめ「令和4年度施設関係者評価報告書」としてご報告させていただきます。

職員に対する温かいお言葉や励まし、そしてご意見・ご感想を頂き心から感謝申し上げます。

今後は、現在の施設運営をより多角的な視点で捉え、更なる見直しを図ると共に改善すべき点は速やかに改善し、常により良い施設をめざして職員一同一層努力してまいります。

今後共、尚一層のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和5年3月7日

社会福祉法人恵愛会
美咲こども園
園長 富樫孝雄

令和4年度 園評価（保護者）アンケート集計結果

美咲こども園

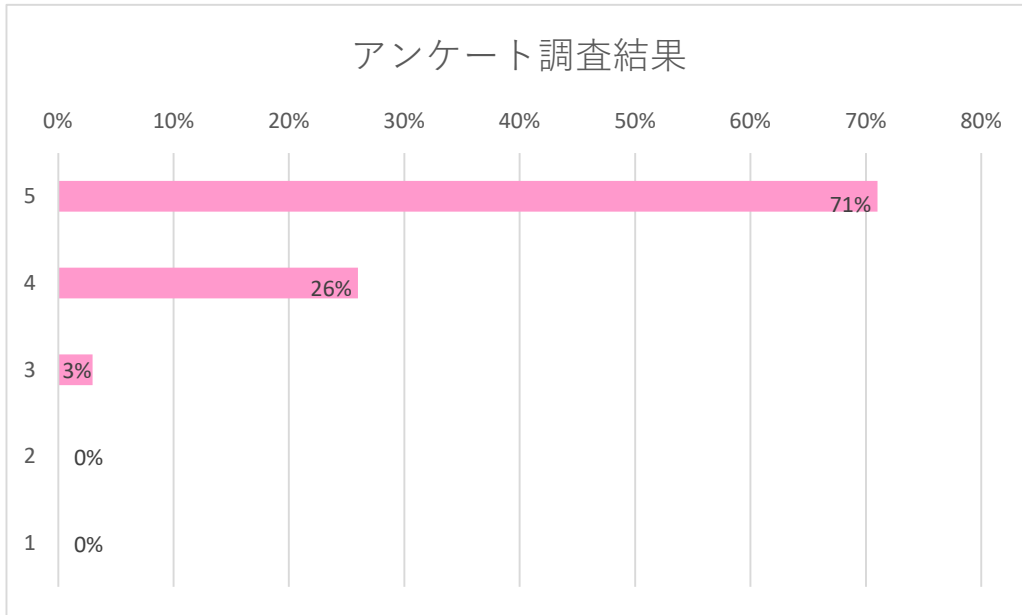
○ アンケート対象保護者数（実家庭） 71名 回収 53名 回収率 74.6%
 ○ アンケート調査期日 令和5年1月10日～1月17日

5.達成 4.概ね達成 3.普通 2.やや不十分 1.不十分

項目	内 容	人 数（名）					評 価（％）					肯定的 評価
		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
保 育 内 容 に つ い て	① 教育・保育目標に沿った保育がされている。	35	17	1	0	0	66%	32%	2%	0%	0%	98%
	② 年齢に応じた食育指導がされている。	36	15	2	0	0	68%	28%	4%	0%	0%	96%
	③ お子さんが伸び伸び体を動かし、楽しんで遊んでいる。	41	11	1	0	0	77%	21%	2%	0%	0%	98%
	④ 園の行事によって経験の幅が広がり、充実した園生活を過ごしている。	32	19	2	0	0	60%	36%	4%	0%	0%	96%
	⑤ 子ども一人ひとりが大切に保育されている。	44	9	0	0	0	83%	17%	0%	0%	0%	100%
	⑥ 保育室などは子どもたちが楽しく遊び、様々な経験ができるよう環境が整えられている。	40	11	2	0	0	75%	21%	4%	0%	0%	96%
	⑦ 遊具、玩具、絵本等が整備されている。	37	13	3	0	0	70%	25%	6%	0%	0%	94%
園 運 営 に つ い て	⑧ 登園時に職員からお子さんの様子や健康状態等の把握がある。	40	12	1	0	0	75%	23%	2%	0%	0%	98%
	⑨ 決められた保育時間に急な変更が生じた場合、柔軟な対応がされている。	40	9	4	0	0	75%	17%	8%	0%	0%	92%
	⑩ 園で起きた事故や怪我、感染症や急な体調変化に対し、適切な対応がされている。	38	13	2	0	0	72%	25%	4%	0%	0%	96%
	⑪ 園の生活において安全対策がとられている。 （施設、設備及び災害訓練など）	38	12	3	0	0	72%	23%	6%	0%	0%	94%
	⑫ 園は、お便りやHP、メールを通じて教育に関する考え方や活動内容をわかりやすく伝えている。	37	16	0	0	0	70%	30%	0%	0%	0%	100%
	⑬ 教職員の指導・援助は、こども達の主体性を育むように行われていると思う。	36	15	2	0	0	68%	28%	4%	0%	0%	96%
	⑭ お子さんの気持ちや様子・子育て等について職員と話したり相談ができる。	36	16	1	0	0	68%	30%	2%	0%	0%	98%
	⑮ お子さんが喜んで園に通っている。	36	16	1	0	0	68%	30%	2%	0%	0%	98%
	⑯ 保護者の意見や声が園に届いていると感じられる。	35	15	3	0	0	66%	28%	6%	0%	0%	94%
	⑰ 保護者やお子さんのプライバシーが守られている。	39	11	3	0	0	74%	21%	6%	0%	0%	94%
	⑱ 清掃など衛生面もよく整備している。	40	11	2	0	0	75%	21%	4%	0%	0%	96%
	⑲ 教職員のあいさつや話し方は好感が持てる。	37	15	1	0	0	70%	28%	2%	0%	0%	98%

71.2% 25.4% 3.4% 0.0% 0.0%

5. 達成	71%
4. 概ね達成	26%
3. 普通	3%
2. やや不十分	0%
1. 不十分	0%



記述によるご意見等

<p>・職員の方が今日の保育の様子をおしえてくれるので、ありがたい。家と保育園での様子の違いがわかるので、今後もお願いしたいです。</p>
<p>・皆さん、子ども一人ひとりをよく見て、しっかりと向き合っているのが伝わってきます。 「見守る保育」のおかげか、自分で考えてじっくり遊ぶことができ、毎日楽しく登園しています。一人でできることもだいぶ増え、園での生活が良い刺激になっていると感じます。</p>
<p>・連絡帳、写真つきで丁寧に日中の過ごしている姿を教えて頂き、とても嬉しいです。 いつもありがとうございます。</p>
<p>・感謝しかありません。保育士さんって本当にすごい。いつもたくさんの愛情で保育してくれてありがとうございます。</p>
<p>・日頃よりたいへんお世話になっております。私共夫婦にとってはじめての子育て、そしてこども園での我が子の生活、右も左も分からず不安な我々に、やさしくご対応下さる先生方に心から感謝申し上げます。我が子が毎日楽しそうに園での生活を過ごしており、親として嬉しい限りです。これからも子どもの成長をご支援頂けますと幸いです。今後ともよろしくお願い致します。</p>
<p>・対応良く、安心できます。これからもよろしくお祈いします。</p>
<p>・全てにおいて満足です。いつもありがとうございます！！</p>
<p>・仕事で登園、降園の時間に変更があった時、柔軟に対応していただけて、とても助かっております。ありがとうございます。</p>
<p>・いつも本当に良くして頂き、先生方には感謝しています。体調不良でお休みした日も、翌日元気に登園すると看護師先生も親身になって話を聞いて下さるのでとても心強く感じます。</p>
<p>・迎えに行った際、玄関ですぐに「～さん、お迎えです」と対応して下さるのが、ありがたいです。また、きょうだい体調不良で欠席したとき、気にかけて心配して下さる先生方に感謝です。「今日の保育」で子どもの活動を見れるのは良いです。玄関にテレビでうつしだされるのも良いなと思います。</p>
<p>・いつも丁寧に柔軟な対応をしていただき、とても感謝しております。子どもを安心してあずけることができ、美咲こども園で良かったです。残りの1年も様々な活動を通して、多くの経験をしてほしいです。</p>
<p>・子どもが担任の先生が大好きで毎日楽しく登園できているので感謝しています。また、保健の先生が2人も優しく、どちらも保健の先生に甘えている姿が見られ、ありがたいです。今後ともどうぞよろしくお願い致します。</p>
<p>・先生方の日々の努力の結果だと思います。他の園の話聞いても美咲こども園でよかったと感じます。</p>
<p>・いつもありがとうございます。いろいろと配慮していただき、とても助かっています。</p>
<p>・コロナ禍のため、園に入れてないので現状をよくわかりませんが、子どもから園での楽しい話をたくさん聞くので、すくすく育つ事のできる園だなと思っています。</p>
<p>・自立心と協調性を同時に育むのは容易ではない中で、子どもの行動を見守りつつ、時には叱る（少し強めで、感情的でない口調）、めりはりのある接し方にプロ意識を感じ、安心して預けられるのが有難いです。たまに迎えに行った際に、そういった光景を見た時に「手本にしよう」と思いながら家路につく事が何度もありました。先日次男が体調不良でお休みしようとした際、長男に登園したいか聞いたら「家で暇してるぐらいなら、こども園に行って遊びたい」と答えました。理屈云々抜きで、その答えが全てを物語っていると思います。息子の口から初めて聞くフレーズだったので心底嬉しく思いました。これからもよろしくお願い致します。</p>
<p>・コロナ禍において園の方でも非常に苦労しながらの保育だったと思います。様々制限された中でも子どもが登園することを楽しみにして毎日過ごすことができたことは先生方皆さんに感謝しております。</p>
<p>・子どもの主体性を大切に、一人一人を丁寧に見守っていただいていることがわかるので、安心してあずけられます。日々のできごとなども教えていただけて、園での様子を知ることができ、ありがたいです。</p>

【ご指摘を頂いた点】

<p>・2～1はないけど…早退することが多く、その後24時間は登園禁止制度は正直生活が辛い気持ちもあるけれど、自分も気づかない子どもの不調など気づいてくれてのことだから、私たちも対応できるように小さいうちはがんばっていきたい。</p>
<p>・幼児クラスになってから、ほとんどの行事が延期・縮小・中止と、親も子ども楽しみにしていたことが出来なかったことが非常に残念でした。特に平日開催の行事が延期になると、仕事の都合をつけるのが難しく、できるだけ予定された日で実行してもらえたら親の立場としては大変助かります。</p>

施設関係者評価委員会報告

1. 職員代表者からなる評価

保護者の皆様から寄せられたアンケート結果を元に、職員代表者による評価委員会で話し合われましたことをまとめご報告致します。

1. 昨年度は、評価基準「1」が高評価で、数値が高くなる程低評価とように設定致しましたが、誤って逆に記入された方が数名おられましたので、今年度は逆に数値が高い程「高評価」とさせていただきます。 その結果、誤って記入されたと思われる方は一人もなく、どの項目も肯定的であるか否定的であるかがよく分かり、肯定的評価（5 + 4）の高い・低いで課題が明らかとなりました。
 2. 幼保連携型認定こども園に移行して4年目としての評価と課題を分析していくことで、来年度からの方向性を明らかにしていくことができました。
 3. 多くの保護者の皆様から肯定的な評価を頂き、職員の励みになりました。 大変有り難く受け止めておりますが、お預かりしているお子さんや親御さんに、もっとやってあげられる事はなかったのかどうかを振り返り、更に自己点検の充実を図ってまいります。
 4. 新型コロナの感染が拡大する中で、保育現場は「感染させてはいけない」「感染しないようにしなければならない」と強い緊張感の日々を送って来ました。これまで大切にしてきた保育が続けられなくなり、マスクの着用、園舎や玩具の殺菌消毒、食事中や午睡中の三密回避、通常保育以上の負担でありましたが、子ども達の健康維持の為に職員は努力させて頂きました。 然しながらこれまで行ってきた異年齢保育が出来なくなり、クラスに分かれての保育が求められました。 英語、体操などの特別保育も出来ず、こども達には満足した保育を提供することが出来ませんでした。 また、保護者参加の各種行事を中止せざるを得なかったり人数制限をお願いしたり、保護者の皆様にも満足できないこの3年間であったと思います。 コロナ禍で保護者の皆様には保育室への出入りを他園と同様に制止し、玄関でのお子さんの受け渡しとなりました。その為、職員の負担も多く、受け渡しの際に持ち物の間違いなどを生じてしまい大変ご迷惑をおかけいたしました。 園では、このようなミスを防ぐために、即、職員で話し合い、受け渡しのやり方を変えて保護者の皆様からご協力を頂いた事を大変ありがたく思っております。最近、感染者数も低下し、3月13日からはマスクの着用も緩和されるなど対応も変わってきておりますので、従来どおりの保育が再開できることを職員は願っております。
 5. この度、ご指摘頂いたご意見に、「平日開催の行事が延期となり困りました」と率直なご意見がありました。今後は、極力延期を避けご迷惑をおかけしないように努めたいと思っておりますが、その時点の感染等の状況により、延期等をお願いしなければならない場合もありますことをご理解願いたいと思っております。 そうならないように一日も早くコロナ感染が終息してもらいたいものです。
- 今後も、保護者アンケートと職員の自己評価に基づいた園評価を取りまとめ、毎年公表してまいりますので、今後共宜しくご協力下さいますようお願いいたします。

令和4年度 自己点検・自己評価結果 (保育教諭)

美咲こども園

今年度の本園の保育・教育全般について、自己評価をおこない評価欄に各自、評価をご記入願います。

【記入方法】 評価基準は次のとおりです

A.達成 B.概ね達成 C.普通 D.やや不十分 E.不十分

評価分類	内 容	人 数					回 答 率 (%)					A+B	
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E		
I 保 育 の 計 画 性	1.園の教育 理念・教育 目標の理解	園の教育理念や目標を理解する	5	6	4			33	40	27	0	0	73%
		園の教育理念に基づいた教育目標について保育者と話し合う	1	6	6	2		7	40	40	13	0	47%
	2.教育保育 要領の理解	認定こども園教育保育要領を読み保育者と話し合っ て理解に努める		4	6	5		0	27	40	33	0	27%
	3.教育課程 の編成	園の教育課程は、認定こども園教育保育要領の精神を踏ま え、園の教育理念・教育目標を基に編成する	3	6	6			20	40	40	0	0	60%
		園の教育課程を理解し、それに基づいて保育の計画 性を立てる	1	9	5			7	60	33	0	0	67%
	4.指導計画 の作成	指導計画は幼児の発達に即して幼児期にふさわしい 生活を展開できるように具体的に作成する	5	5	5			33	33	33	0	0	67%
		指導計画は幼児の実態や周囲の状況の変化に対応で きるような順応性のあるものにする	4	6	4	1		27	40	27	7	0	67%
	5.環境の 構成	安全で清潔感のある環境を構成する	4	8	3			27	53	20	0	0	80%
		幼児が主体的に関わりたくなるような素材や遊具を 考えて環境を構成する	1	4	9		1	7	27	60	0	7	33%
		幼児が自ら活動を展開していけるような場や空間の 構成をする	1	6	6	1	1	7	40	40	7	7	47%
		遊びに必要な遊具や用具、素材などを質、数量に配 慮して用意する	2	6	5	2		13	40	33	13	0	53%
		楽しい雰囲気の中で安心して遊びこめる環境を構成 する	5	7	1	2		33	47	7	13	0	80%
		幼児の活動がより豊かになるように、活動の展開に 応じて環境を再構成する	3	6	5	1		20	40	33	7	0	60%
		幼児の発想を柔軟に取り入れて、保育室の装飾や展 示をする	6	8	1			40	53	7	0	0	93%
		園地、園庭の樹木や草花の名前、季節による変化な どを理解し環境構成に生かす	2	3	5	3	2	13	20	33	20	13	33%
		幼児の発達や生活を見通した環境の構成をする	1	12	1	1		7	80	7	7	0	87%
		季節の変化に応じた環境の構成をする	3	7	3	1	1	20	47	20	7	7	67%
	異年齢幼児が自然に交流できるような環境の構成を する		3	2	2	8	0	20	13	13	53	20%	
	6. 評価・反省	自分の保育を評価・反省することで次の保育に生か す	3	7	4	1		20	47	27	7	0	67%

評価分類	内 容	人 数					回 答 率 (%)					A+B	
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E		
II 保 育 の あ り 方 ・ 幼 児 へ の 対 応	1.健康と安全への配慮	朝の登園時には特に視診を大切にし、子どもの体調が悪くないかを確認する	7	8				47	53	0	0	0	100%
		怪我や事故に気をつけ、万一、事故や怪我が発生した場合には園長に報告し、保護者に連絡を取り、医師に診てもらおうなど適切な処置を行う	9	5	1			60	33	7	0	0	93%
		園内に危険な個所がないか、危険な遊び方をしていないか常に配慮し、危険が予測される場合は安全な遊び方について幼児と一緒に考える	4	9	2			27	60	13	0	0	87%
		園内の清掃や整理整頓、換気、採光、室温等に気を配る	6	7	2			40	47	13	0	0	87%
	2.幼児理解	一人ひとりの幼児をよく観察すると同時に周囲にも目を配る	3	9	3			20	60	20	0	0	80%
		幼児の話をよく聞き、幼児の思いを受け止める	7	8				47	53	0	0	0	100%
		個々の幼児の発達の姿や課題について、見通しを持って理解する	1	13	1			7	87	7	0	0	93%
		幼児同士の関わりの姿を捉え、そこでの幼児の育ちを理解する	5	8	2			33	53	13	0	0	87%
		幼児たちが今、興味や関心を持っていることを知る	5	9	1			33	60	7	0	0	93%
		幼児の理解のために家庭との連携を取る	3	4	7	1		20	27	47	7	0	47%
		幼児の姿を多面的に捉えるように心がける	3	7	4	1		20	47	27	7	0	67%
	3.指導と関わり	幼児の思いや考えに共感しながら、幼児と一緒に活動する	7	7	1			47	47	7	0	0	93%
		幼児が理解しやすいような、正しい言葉を使う	6	8	1			40	53	7	0	0	93%
		幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、関わり方をしない	8	7				53	47	0	0	0	100%
		善悪の判断、思いやりなどの道徳性を培う上でのモデルとなるように心がける	5	9	1			33	60	7	0	0	93%
		幼児の一人ひとりのありのままの姿を受け入れ、その子の良さを認めるように心がける	8	7				53	47	0	0	0	100%
		幼児の話をよく聞いたり、スキンシップを取るようになる	7	8				47	53	0	0	0	100%
		クラスの環境構成等についてもお互いにフランクに意見を交換し合う	4	4	6	1		27	27	40	7	0	53%
		幼児の年齢に応じた援助の仕方を工夫する	2	11	2			13	73	13	0	0	87%
		幼児自ら考えたり工夫したりできるように見守り、行き詰まっているときには適切な援助をする	3	8	4			20	53	27	0	0	73%
		幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をするように心がける	5	8	2			33	53	13	0	0	87%
	幼児を無視したり、体罰を加えることはどのような場合もしない	14	1				93	7	0	0	0	100%	
	4.保育者同士の協力・連携	クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉がけや対応をするように心がける	6	7	2			40	47	13	0	0	87%
		クラスの環境構成等についてもお互いにフランクに意見を交換し合う	3	9	3			20	60	20	0	0	80%
		幼児のことについて保育者同士で話し合い、共通理解をするように心がける	7	8				47	53	0	0	0	100%
		他のクラスや異年齢の幼児たちと触れ合うような、様々な工夫をする		3	3	6	3	0	20	20	40	20	20%

評価分類		内 容	人 数					回 答 率 (%)					A+B
			A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	
III 保 育 者 と し て の 資 質 と 能 力	1.専門家としての能力・姿勢・義務	幼児の性格や個性を把握し、幼児の考えや感じていることを理解する	1	14				7	93	0	0	0	100%
		保護者に対し、幼児や自分の保育のことをわかりやすく話し、保護者との信頼関係を築くように努める	1	9	5			7	60	33	0	0	67%
		保育時間外でも保育者としての誇りと自覚を持った言動を心がける	2	11	2			13	73	13	0	0	87%
		こども園には自分自身のプライベートな生活を持ち込まないようにする	7	7	1			47	47	7	0	0	93%
		幼児や保護者との対応には、公平さを欠かさないようにする	10	5				67	33	0	0	0	100%
		服装・髪型・身だしなみなど、清潔感のあるものを心がける	8	6	1			53	40	7	0	0	93%
		職務上、知り得たプライバシーに関する情報等の秘密を守る	14	1				93	7	0	0	0	100%
		園の重要書類は持ち出さない	12	1	1		1	80	7	7	0	7	87%
	2.組織の一員としてのあり方	締め切りのある仕事や提出物は締切日をきちんと守る	4	5	3	3		27	33	20	20	0	60%
		教職員全員で1つのチームであることを自覚する	9	6				60	40	0	0	0	100%
		他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べるように努める	5	7	3			33	47	20	0	0	80%
		子どもの事、クラスの出来事などで必要な事は園長や主任に報告、連絡、相談する	9	5	1			60	33	7	0	0	93%
		当番や役割による仕事は確実に行う	8	7				53	47	0	0	0	100%
		園や保育者に関することについては、軽はずみに他に話さない	14	1				93	7	0	0	0	100%
3.保育の楽しみ・喜び	幼児の成長を自分の喜びと感じる	13	2				87	13	0	0	0	100%	
	幼児と一緒に生活を創り出すことを楽しいと感じる	12	2	1			80	13	7	0	0	93%	
IV 保 護 者 へ の 対 応	1.情報発信と受信	保護者に個々の幼児の様子を伝える工夫をする	5	8	2			33	53	13	0	0	87%
		保護者からの相談や要望には心を開いて、よく話を聞くように心がける	7	6	2			47	40	13	0	0	87%
	2.守秘義務の順守	保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針に従う	15					100	0	0	0	0	100%
		個々の幼児や保護者、家族の情報は口外しない	14	1				93	7	0	0	0	100%
	3.対応上のマナー・心構え	日常生活において、その場にあった新しい言葉を使うようにする	5	8	1	1		33	53	7	7	0	87%
		電話は、相手が見えないため誤解が生じやすいことを心に留め、簡潔にわかりやすく話すことを心がける	7	6	2			47	40	13	0	0	87%
		保護者からの依頼や伝言等についてはメモをするなどきちんと対応する	8	7				53	47	0	0	0	100%
	4.クレームへの対処の仕方	保護者からのクレームがあった場合には、まず謙虚にその話を聞き、園長に報告、連絡、相談する。	8	4	3			53	27	20	0	0	80%
		クレームの内容によっては教職員全体で検討し、共通理解の上で対処する	6	5	4			40	33	27	0	0	73%

評価分類		内 容	人 数					回 答 率 (%)					A+B	
			A	B	C	D	E	A	B	C	D	E		
V 地 域 と 社 会 と の 関 わ り	1.地域の自然、人々との関わり	地域の人々と親しく挨拶や会話を交わすように心がける	7	5	3			47	33	20	0	0	80%	
		地域の自然や主な施設の場所、交通機関、行事等について理解するよう努める	3	6	4	2		20	40	27	13	0	60%	
	2.小学校との連携	小学校の教育内容について理解するよう努める	1	3	4	4	3	7	20	27	27	20	27%	
		地域の小学校の行事や公開授業に関心を持つ	2	1	4	5	3	13	7	27	33	20	20%	
		年長児を対象とした模擬小学校(美咲小学校)の役割についてよく理解し、年長児担当職員以外の教職員も運営に協力する	1	6	4	3	1	7	40	27	20	7	47%	
	3.子育ての支援と地域への開放	子育ての支援や地域開放について具体的な形や内容を理解する	2		5	7	1	13	0	33	47	7	13%	
		子育ての支援や地域開放について教職員全体で話し合う	1		5	7	2	7	0	33	47	13	7%	
	VI 研 修 と 研 究	1.研修・研究への意欲・態度	研修会や研究会には自己課題を持って進んで参加する		5	6	3	1	0	33	40	20	7	33%
			自分の教育や保育について自己課題を持って評価・反省を行う	2	5	8			13	33	53	0	0	47%
自分の教育や保育についてのあり方や悩みについて、他の保育者や主任、園長に相談する			3	2	8	2		20	13	53	13	0	33%	
2.教育・保育者としての専門性に関する研修研究		幼児の発達理論を学び、保育に生かすための研修・研究を行う	2	3	5	3	2	13	20	33	20	13	33%	
		教育課程や指導計画の理解と作成に関する研修・研究を行う	1	5	4	4	1	7	33	27	27	7	40%	
		保育記録に基づいた評価方法と計画に関する研修・研究を行う	1	5	4	4	1	7	33	27	27	7	40%	
		幼児の発達を見通した環境構成や教材に関する研修・研究を行う		5	6	3	1	0	33	40	20	7	33%	
		保護者への対応に関する研修・研究を行う		3	7	3	2	0	20	47	20	13	20%	
		地域社会との交流に関する研修・研究を行う		2	6	4	3	0	13	40	27	20	13%	
3.今日的課題に関する研修・研究		アレルギー・自立の遅れなどの問題について理解する	1	7	5	2		7	47	33	13	0	53%	
		障害のある幼児の理解と対応について研修する	2	3	4	3	3	13	20	27	20	20	33%	
		預かり保育や子育ての支援について研修する		1	6	5	3	0	7	40	33	20	7%	
		幼小連携の必要性や具体的方策について研修する		2	5	6	2	0	13	33	40	13	13%	
		危機管理の必要性と対応について研修する		1	8	5	1	0	7	53	33	7	7%	
		保護者満足度の高い教育保育サービスの提供について研修する		2	6	5	2	0	13	40	33	13	13%	
	国が求めている労働者としての働き方改革の推進と業務効率化について研修する		1	5	4	5	0	7	33	27	33	7%		

2. 教職員の自己点検・自己評価結果について

年二回の自己評価を通じて、教職員一人一人が教育や保育を振り返り、見直す機会となっております。

職員の自己評価の低かった項目について、課題分析と改善策についてご報告致します。

I 保育内容 について	<p>1. 園の教育理念・教育目標の理解について</p> <p>① <u>園の教育理念に基づいた教育目標について保育者と話し合う</u></p> <p>◎ 次年度の課題並びに改善策 自己流の保育にならないように「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領」を基本として、美咲こども園の「教育・保育理念」を教育職員が共有できるように、今年度に法人が竣工した「教育・保育研修センター」において、職員研修を定期的実施し、教育・保育にあたる職員全員の意識改革と教育並びに保育の質の向上を図ってまいります。</p> <p>4. 指導計画の作成</p> <p>① <u>指導計画は幼児の発達に即して幼児期にふさわしい生活を展開できるように具体的に作成する</u></p> <p>◎ 次年度の取り組み 乳幼児の保育は、基本的な発達過程を踏まえて、指導のあり方を工夫することが大事です。園児一人一人の発達段階を的確にとらえ、必要な援助と指導が求められます。本園では、これまで使用してきた「保育ITソフト」を、5年度から新たに進化した「ITシステム」に切り替えます。 これにより、これまで以上にきめ細かく園児の発達に即した指導計画（月案・週案・日案等）を作成することが可能となり、保育等の質の向上が期待されます。 具体的な利点としては ア. 保育記録など情報管理や処理にかかる業務の効率化 イ. 障害児保育など発達支援の質の向上 ウ. 子どもの発育発達を保護者に立体的に伝え共有化できる エ. 経験的根拠だけでなく、科学的な視点も踏まえた教育・保育を進めることが可能</p> <p>5. 環境の構成</p> <p>① <u>幼児が主体的に関わりたくなるような素材や遊具を考えて環境を構成する</u></p> <p>② <u>幼児が自ら活動を展開していけるような場や空間の構成をする</u></p> <p>③ <u>異年齢幼児が自然に交流できるような環境の構成をする</u></p> <p>◎ 次年度の取り組み 乳幼児期における自発的な活動としての遊びは、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習であることを考慮して、遊びを通しての指導を中心に行うことが重要であります。 園児が自ら環境に主体的に関わり、環境との関わり方や意味に気付き、試行錯誤したり、考えたりするようになる幼児期の教育活動が豊かに展開されるよう環境を整え、園児と共によりよい教育及び保育の環境を創造することが出来るように、研修を通して見直しを図ってまいります。</p>
----------------	--

<p>II 保育のあり方、幼児への対応</p>	<p>2. 幼児理解</p> <p>① <u>幼児の理解のために家庭との連携を取る</u></p> <p>◎ 次年度の取り組み</p> <p>コロナ禍となり、これまでのように保護者が保育室に出入りし、担任とお話を自由にできる状況が不可能となり、また、保護者が参加できる行事が減ったりした事で、保護者とのコミュニケーションや連携を取ることが難しくなりました。</p> <p>保護者との関係作りが築きにくくなったことに、職員はとても残念に思っており、保護者とどうコミュニケーションを取っていくかが悩みでありました。</p> <p>0・1歳児については、連絡帳でお子さんの健康状況等について、情報交換を行ってまいりました。それ以外にも保護者との個別面談の機会をつくり、面談を通してお子さんの発達状況等について情報を共有してまいりました。また、園内行事はなるべく「てのりの」動画配信を心がけておりますが、保護者の皆様からすれば満足できるものではなかったのではないかと感じております。職員も自ら感染したり、家族の感染により勤務することができない職員も出たり、保育の継続に苦勞した時期があったことは事実でありました。</p> <p>最近ではコロナ感染者が収束方向にあり、5年度は従来どおりの保育や保護者対応ができることを願っております。そして、新たに導入するITシステムにより、これからは、メールも含めた電子連絡帳の提供により、園からは、お子さんの一日を通じた健康記録や生活、遊びの様子を送信することができます。また、保護者の皆様からは家庭での様子や連絡事項を送信することができます。</p> <p>その他の情報発信により、ご家庭と密なる連携をとってまいりたいと計画進行中であります。</p> <p>4.保育者同士の協力・連携</p> <p>① 他のクラスや異年齢の幼児たちと触れ合うような、様々な工夫をする</p> <p>◎ 次年度の取り組み</p> <p>コロナ禍となり、本園の特徴でもある異年齢保育が出来なくなり、クラス毎に分かれての活動が余儀なくされました。本園は部屋ごとにクラスが完全に仕切られている訳ではないので、全く幼児同士の触れ合いがなかった訳ではありませんが、多少なりとも子ども達の中に寂しさを感じられました。5歳児の美咲小学校の後半からは、子ども達の気持ちを受け入れ、従来どおり、0・1歳児クラスに入って「お手伝い保育」を行うことができました。ミルクを飲ませたり、食事を食べさせることはできませんでしたが、朝の会から参加し、一緒に歌を歌ったり・手遊びをしたり・ひざに乗せて絵本を読んであげたり・お散歩と一緒にでかけて幼児と手をつないだりして喜んでもらうことができました。また、ご飯炊きや、お料理当番もやっとなりました。</p> <p>5年度からは、感染状況にもよりますが、できる限りコロナ禍前の保育環境に戻してまいりたいと考えております。</p>
<p>V 地域と社会との関わり</p>	<p>2.小学校との連携</p> <p>① <u>小学校の教育内容について理解するよう努める</u></p> <p>② <u>地域の小学校の行事や公開授業に関心を持つ</u></p>

	<p>◎ 次年度の取り組み</p> <p>コロナ禍となり、これまで毎年2回開催されていた第六学区の幼保小連絡協議会（第六小学校で開催）が中止となったり、内容が制限されたことで、卒園児である1年生の小学校生活の様子を伺うことが出来なかったことが大きな要因ではないかと思われます。幼保と小学校のつながりを深め、子ども達の生活や学びの基盤を支える「幼保小連携」。保育園や幼稚園（こども園含む）を卒園した後に、子ども達が小学校生活や雰囲気馴染めず、落ち着かない状態が数ヶ月続くことを「小1プロブレム」と言っておりますが、大抵の子ども達が直面する問題です。本園では、この「小1プロブレム」を起こさず卒園児が自信をもって小学校に入学できるようにと、平成18年から5歳児の3学期に、園児一人一人に段ボール製の机と椅子を与え、第6小学校から頂いたカリキュラムを元に模擬小学校の美咲小学校を開校し、小学校生活を体験しております。</p> <p>職員も、幼保小連絡協議会が通常で開催されれば、各小学校から卒園児の情報を得ることが出来、小学校に対する理解が深まるものと思います。</p>
<p>VI 研修と研究</p>	<p>2.教育・保育者としての専門性に関する研修研究</p> <p>3.今日的課題に関する研修・研究</p> <p>◎ 次年度の取り組み</p> <p>保育教諭の多くが、研修に対する意識が高く、幼児教育の質を高める為に必要な教員研修の機会が、コロナ禍の影響もあり取れなかった事に対する率直な評価と受け止めております。</p> <p>5年度からは、研修担当主任を配置し、法人の「教育・保育研修センター」で、定期的に各職務に応じた「園内研修」を開催し、研修の成果を高め、より良い教育・保育を提供できるように取り組みたいと計画致しております。</p>